

令和7年度中国・南昌市への青少年訪問団派遣事業 事後報告書

◆名前： 村上 愛奈

江西省及び南昌市に滞在中の様子や本事業で得たこと、感想等をご記入ください。

(1, 000字程度)

2日目の国際友好都市青年リーダー対話江西イベントでは、若者が他国の文化を理解し、受け入れることが他国との友好関係構築にとって重要であるというお話を聞き、これからも様々な国の人々と関わり、お互いの考えや文化を伝え合いたいと感じました。また、南昌高松友好会館において、日本語学校に通っている方とお話することができ、とても楽しかったです。南昌VR産業基地では、宇宙や恐竜などをテーマにしたVRを体験しました。南昌市中で、VRをはじめとした先端産業が発展していることを実感しました。夜には、日中青年友好交流会歓迎レセプションに参加しました。中国の方の獅子舞や古箏の演奏を聞いたり、高松市青少年訪問団のみんなと用意したダンスメドレーを踊ったりして、貴重な時間を過ごすことができました。

3日目に訪れた江西省博物館では、王が使っていたまさかりや青銅でつくられた虎など、多くの貴重な展示品を見ることができました。江西省は青銅器が有名で、虎をモチーフにした作品が多いことを学びました。林恩モダンシティ工場では、お茶の歴史を聞いたり試飲をしたりして、南昌市で有名なお茶を知ることができました。

4日目は、国際陶磁器博覧センターで、陶磁器の色付けを体験しました。筆で細い線を引いたり、曲面に絵を描いたりするのは難しかったですが、初めての体験で面白かったです。自分なりのデザインの陶器が完成し、嬉しかったです。また、中国陶磁器博物館で、皇帝に贈られた陶磁器に描かれている龍の爪は5本であることや、時代を経て遠近法や穴が空いた陶磁器など、技術が発展していったことを知りました。展示品の1つに桃が9個描かれた陶磁器があり、桃には「大きい」、数字の9は「最も大きい数字」という意味があると知り、それぞれの絵にも意味が込められているのだと感じました。夜には、中国村の大唐茶市に行き、歌を聞いたり茶をテーマにした劇を見たりして中国の歴史や雰囲気を感じることができました。

5日目は、江西ヘリコプター科学技術館へ行き、実物のヘリコプターや模型を見学しました。戦闘用や物を運ぶ用のヘリコプター、プロペラが2つあるヘリコプターなど、様々な種類のヘリコプターを近くで見ることができました。

6日間を通して、個人旅行では経験できない貴重な体験をすることができ、良かったです。また、博物館見学や陶芸体験だけでなく、中国の大学生や店員さんなど、現地の方と関わることもできたのが良い経験になりました。

